

令和7年度第1回社会教育委員会議兼中央公民館運営審議会 会議録

1 日時

令和7年5月16日（土） 午後1時30分から午後2時50分まで

2 場所

碧南市文化会館5階 研修室1

3 出席者及び欠席者

(1) 出席者 中根 孝明、清水 ヨシエ、兵藤 俊宏、榊原 健、石川 史郎、  
酒井 宏樹、竹原 邦夫、平松 浩文、神谷 晃

(2) 欠席者 なし

(3) 事務局職員 教育部長 岡本 和雄、文化財課長・藤井達吉現代美術館副館長 山田  
光則、文化財課 課長補佐・藤井達吉現代美術館副館長 木村 理恵子、スポーツ課長 中  
嶋 忠彦、碧南海浜水族館長 地村 佳純、生涯学習課長 金原 厚夫、生涯学習課生  
涯学習係長 竹内 みほ子、生涯学習課生涯学習係主査 藤田 達也

4 傍聴者 なし

5 議題

- (1) 令和7年度社会教育事業計画について
- (2) 令和7年度社会教育関係団体への補助金の交付について

6 議事の要旨

- (1) 教育部長あいさつ
- (2) 辞令交付
- (3) 会長あいさつ
- (4) 議題

ア 令和7年度社会教育事業計画について

事務局が会議資料に基づき、各課より令和7年度社会教育事業計画について説明  
した。結果、事務局案が了承された。

<主な意見・質疑>

【A委員】現状のアジア大会ボランティアの応募状況は。

【スポーツ課長】組織委員会から示された碧南市での目標人数は470名であるが、  
今日現在で564名である。

【A委員】通訳スタッフ等は集まっているか。

- 【スポーツ課長】通訳や、道案内等各種人数の内訳の情報は入っていない。言語や医療といった専門的な内容のボランティアは組織委員会に直接申し込むこととなっている。一般的な内容としての応募が564名である。
- 【A委員】登録した全ての人が、いつでも来れるとは限らないと思うが。
- 【スポーツ課長】募集の内容は1日だけでも可としている。
- 【A委員】海外の方の受け入れ態勢は。
- 【スポーツ課長】選手村のように、施設の確保等も組織委員会が行う。
- 【A委員】入場チケットの入手方法について、デジタルに慣れてない方等万人がわかりやすく配慮する必要があると考える。
- 【スポーツ課長】同意である。組織委員会には意見を伝えさせてもらおう。ボランティアの応募方法についてもインターネットからの登録のみであり、場合によっては敬遠されてしまうと考える。
- 【教育部長】自身もこのボランティア登録の際、次に進めないという事象もあった。副知事へ改善の要請をした。
- 【B委員】中学生は今後スポーツとの関わりが出てくると思う。招待等は検討されているか？
- 【A委員】高校生も同様に、招待の裾野を広げてあげられると良い。
- 【スポーツ課長】招待についての具体的な話は無い。海外からの選手と小中学生が交流できるようなプログラムを組めないかという案は出ている。試合会場に招待するというよりは、選手が学校に行って交流をできるような事業の展開を考えている。
- 【B委員】出向いてもらえるということは良いことだと考える。
- 【C委員】碧南市は外国籍の児童生徒も多い。通訳の役割も持てるような展開があるとより良い交流の機会となるのでは。
- 【D委員】市の社会教育事業は、人口規模等の観点から適正であるといえるか。
- 【教育部長】毎年行う市民アンケートでは、概ね満足いただいているという結果が出ており、評価をいただいていると認識している。過不足等意見があればお聞きしていきたい。
- 【D委員】アンケートの対象者は。
- 【教育部長】基準年齢に達した市民1500名に送付し、これに対して5割弱の回答がある。

- 【D委員】回答をいただける5割弱の方達は比較的熱心な方であると想定される。未回答の5割の方がどうだったかということや、目的に対しての効果を検証できたりするとより良いと考える。
- 【B委員】無我苑において、子ども向けの催しがあると良い。例えば、地元の学校の子ども達の作品展示の機会を設けてもらえる等あれば、施設にも興味を持ってくれるのでは。
- 【文化財課長】児童・生徒向けの展示等、学校と協力した事業展開ができればと考えている。学校と相談していきたい。
- 【E委員】よく図書館に通っているが、ここ数年の蔵書数が減っているような感覚がある。数値的に実際はどうか？
- 【生涯学習課長】コロナ禍により落ちた。その後は少しずつ回復傾向である。なお、デジタルの本を貸し出す電子図書館では、令和5年度は2,300点程の貸し出しがあり、令和6年度は3,000点程度に増加している。デジタル化の傾向もあることは承知しているが、紙で本を読みたいというニーズはあるため、電子を併用した方法をとっていきたい。
- 【F委員】事業計画で説明のあった、市史資料収蔵品展、子どもたちにこそ伝えたい「碧南と戦争」についてであるが、自身の親も戦争を知らない世代である。これを子どもたちに伝えるということは有意義であると感じる。どのように子どもたちへ事業の周知を行う予定をしているか。
- 【文化財課長】具体的な中身はまだ詳細が決まっていない。碧南市唯一の特攻隊だったと言われる方の記録や、当時の碧南の様子等を紹介できるような内容で調整をしていく。子どもたちへのPRについては、学校を通じて案内はしていきたいと考えている。他にも、子どもたちと関わる青少年育成推進員のみなさんや、PTAのみなさんにも協力を得られそうなことがあればお願いしたいと考えている。
- 【G委員】スポーツ分野において、子どもがスポーツをしていることをきっかけに、その家族も一緒に興味を持ってもらう、ということもある。碧南市はアイシンティルマーレがホームタウンとしているので、この関連でスポーツの裾野が広がっていくようなことがあると良い。
- 【スポーツ課長】アイシンティルマーレについては子ども向け教室を行ったり、ジュニアチームを組織している。そういった活動情報を広く紹介して参加機会を増やしてい

きたい。サッカーに関しては、F C刈谷と連携協定を結び、へきなんデーの設定をして観戦チケットの配布をしてもらっている。サッカー少年団を通じて紹介していきたい。

【H委員】以前、子どもたちと碧南市について研究をした際、碧南市は良いところだ、ということをとくさんの子ども達が発言していた。調べていくと多くの魅力がある。それらをもっと広くPRしていけると良いと感じる。

イ 令和7年度社会教育関係団体への補助金の交付について

事務局が会議資料に基づき、社会教育関係団体への補助金について報告し、特に質疑なく了承された。

ウ 報告事項

(ア) 年間の主な活動計画について

事務局より会議資料に基づき、今後の年間活動計画について報告し、特に質疑なく了承された。

14時50分 閉会